

平成30年度事業報告

本県の水と緑に恵まれた快適な環境を次世代に継承していくため、県民やNPO法人・団体、学校、企業、行政等との連携及び情報の共有化を図り、協働して環境保全活動の普及啓発に努めた。特に、県民一人ひとりに、環境負荷の低減につながる実践的な行動を起こしていただくことを目指して各般の事業を展開した。

具体的には、環境とやま県民会議やみんなできれいにせんまいけ大作戦などの「県民運動等の推進」やNPO法人、企業、団体等が連携する「環境ネットワーク形成事業」等を実施する『協働推進事業』、

とやま環境未来チャレンジ事業や自然解説事業など学校や地域社会等において環境に対する理解を深めるための『環境教育推進事業』、

とやま環境フェアなどの啓発イベント等実施事業、ホームページやエコノワとやま等により情報発信をする『普及・啓発事業』、

地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）の活動支援、国が展開している国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」の普及啓発などを行う『地球温暖化防止活動推進センター事業』など、幅広い事業を展開した。

また、環境経営マネジメントシステムを推進するため、『エコアクション21 地域事務局事業』として、制度の普及啓発、認証・登録の促進を図った。

1. 協働推進事業

県民やNPO法人・団体、企業、行政等が幅広く連携し、環境保全活動を協働して展開する基盤として、環境ネットワークの形成とその拡大に努めた。

(1) 県民運動等の推進

循環型・低炭素社会の構築をめざし、県民・企業・行政が一体となった県民総ぐるみの運動を展開した。

ア 環境とやま県民会議総会の開催

循環型・低炭素社会の構築をめざし、県民、事業者、報道機関、行政等の協力のもと、県民総ぐるみでエコライフスタイルを積極的に推進するため、環境とやま県民会議を開催した。

- ・ 開催日 平成30年6月23日（土）（環境月間期間中）
- ・ 開催場所 ファボーレ 太陽の広場
- ・ 出席者 構成団体ほか 約200名
- ・ 内容 活動方針の報告、環境部門功労者・環境月間ポスター表彰等

イ 富山県県土美化推進県民会議総会の開催

県民総ぐるみの「県土美化推進運動」を展開し、うるおいとやすらぎのある住みよい郷土をつくるため、富山県県土美化推進県民会議総会を開催した。

- ・ 開催日 平成30年4月17日（火）
- ・ 開催場所 富山県民会館304号室
- ・ 出席者 構成団体 約100名
- ・ 内容 活動報告、活動方針の決定、県土美化推進功労者の表彰等

ウ 富山県ごみゼロ推進県民大会の開催

ごみゼロ・リサイクル推進の普及・発展を図るため、富山県ごみゼロ推進県民大会を開催した。

- ・ 開催日 平成30年10月13日(土)(3R推進月間期間中)
- ・ 開催場所 「とやま環境フェア2018」会場
- ・ 参加者 一般県民等 約150名
- ・ 内容 功労者表彰、ごみゼロ推進運動の実施状況報告等

⑧ エ 「3Rへの架け橋に」県内一斉清掃

10月に開催された3R推進全国大会の開催前に、県内全域の海岸等で地域住民や団体の参加による一斉清掃を行い、全国大会の機運醸成や県民の県土美化意識の高揚を図った。

① 啓発イベントの開催

- ・ 開催日 平成30年7月1日(日)
- ・ 開催場所 高岡市雨晴海岸
- ・ 参加者 約1,800名

② 一斉清掃活動

- ・ 開催日 平成30年6月17日(日)～9月23日(日)
- ・ 実施場所 14市町の21ヶ所
- ・ 参加者 約37,000名

オ 「みんなできれいにせんまいけ大作戦」の展開

富山県の貴重な財産である美しい海岸を保全するため、県民、事業者、行政が連携して海岸等の美化活動を実施した。

- ・ キャンペーン期間 平成30年6月1日～9月30日
- ・ 参加者 県民、事業者、行政等
- ・ 内容 沿岸市町及び上流エリアの市町村・関係団体等と連携して海岸の清掃美化活動を行う際の活動支援及び普及啓発の実施(資材提供、チラシの配布等)

<15市町村の活動概要>

市町村名	実施月日	活動場所	参加人数	ごみ回収量
朝日町	7月1日(日)	町内全域	3,221人	可燃ごみ 3,830kg 不燃ごみ 880kg
入善町	7月1日(日)	町内全域	9,062人	可燃不燃ごみ 10.0t
黒部市	7月1日(日)	荒俣海岸	500人	可燃ごみ 収集車4台 1,850kg 不燃ごみ 収集車1台 240kg
魚津市	7月29日(日)	鴨川流域	350人	可燃ごみ 45L:500袋 不燃ごみ 45L:60袋
滑川市	7月22日(日)	高塚海浜公園付近～ 早月川河口付近	300人	可燃ごみ 383kg(45L:169袋) 不燃ごみ 123kg(45L:24袋) タイヤ処理1本、がれき処理30kg
上市町	6月17日(日)	町内全域	430人	報告なし
立山町	7月8日(日)	利田地区常願寺川公園周 辺	150人	可燃ごみ 90L:2袋 不燃ごみ 70L:1袋 アルミ缶90L:1袋 ビン類45L:1 袋 スチール缶90L:1袋
舟橋村	8月5日(日)	村内全域	500人	可燃不燃ごみ 3,500kg 側溝汚泥 2,500kg
富山市	7月1日(日)	富山市海岸一帯(打出か ら水橋朝日町海岸まで)	4,500人	可燃不燃ごみ 19.16t
射水市	7月1日(日)	六渡寺海岸 足洗海岸、海老江海岸	1,728人	可燃物 6,251kg 不燃物 836kg 処理困難物 160kg

高岡市	7月1日(日)	国分浜一帯・ 雨晴海岸一帯	1,800人	可燃不燃ごみ 1,000袋
氷見市	7月1日(日)	市内全域の海岸・河川・ 道路・公園及び公共施設 周辺	8,000人	可燃ごみ 21,090kg 不燃ごみ 1,950kg
砺波市	6月3日(日)	庄川観光祭会場周辺	210人	可燃不燃ごみ 100kg
南砺市	7月10日(火)	市内各地	257人	報告なし
小矢部市	9月23日(日)	小矢部川大堰上流 ・北陸高速道路橋脚下	72人	可燃ごみ 130kg 不燃ごみ 80kg
合 計	参加人数：31,080人 回収量(可燃ごみ、不燃ごみ合算)：73,093kg+1,566袋			

(2) 環境ネットワーク形成事業

「エコノワとやま」を活用するとともに、県民、NPO法人、企業、行政等と連携した環境保全活動主体のネットワーク化や事業の協働化に取り組んだ。

ア 企業等環境保全活動支援事業の推進

企業とNPO法人等の連携・協力を推進するため交流会を開催するとともに、環境保全意識の高揚、知識の普及啓発及び将来の指導者育成を図るため、企業、学校、団体等の要請に応じ、環境保全活動の専門家や地球温暖化防止活動推進員(以下「推進員」という。)などを講師として派遣した。

① 企業とNPO法人等の交流会の開催

- ・ 開催日 平成31年2月22日(金)
- ・ 見学場所 クリーンピア射水
北陸電力(株)富山新港火力発電所LNG1号機
- ・ 事例発表 「六渡寺海岸の清掃活動報告」
「JFEマテリアル(株)の社会貢献活動」
- ・ 意見交換 「連携・協働へ、はじめの一步」
- ・ 参加者 企業等の環境部門の実務責任者等 54名
- ・ 内 容 見学、事例発表、情報交換会の開催

② 出前講座の実施

- ・ 実施回数：5回
- ・ 受講者数：182名

イ 市町村との環境パートナーシップ事業の推進

市町村とのパートナーシップを形成し、環境保全活動における連携・協力を推進するため、各市のエコライフ・イベントを支援した。

- ・ 実施時期 4月～3月
- ・ 実施場所 県内各市のエコライフ・イベント等
- ・ 参加者数 約43,700名
- ・ 内 容 エコライフ・イベント等への出展、協力又は支援

ウ 豊かな地下水保全事業

本県の豊かで清らかな地下水を県民共有の貴重な財産として、将来にわたり守り育てていくため、消雪設備の節水や名水・湧水の保全など地域に根差した地下水保全活動を担う「地下水の守り人」の活動を支援するため、交流会を開催した。

- ・ 開催日 平成 31 年 3 月 14 日（木）
- ・ 開催場所 黒部市吉田科学館
- ・ 開催内容 活動事例発表、黒部川扇状地の地下水に関する講演、県の地下水水位状況等の報告、清水のまち「生地」周辺散策など
- ・ 参加者数 30 名

エ 環境保全に関する相談事業

環境保全相談室を設置し、環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、ごみ減量化やリサイクル等に関する相談に応じるとともに、情報提供、活動支援及びこどもエコクラブの育成等を行った。

- ・ 相談件数 497 件
- ・ 内 容 環境保全活動に関する相談等

オ 環境保全活動活性化事業（収益事業）

環境保全活動を活性化し、企業等の取組みを支援するため、「平成 30 年版環境関係法規の手引」を作成し、有償頒布した。

- ・ 頒布開始 平成 30 年 5 月
- ・ 頒布先 県内企業、団体等
- ・ 頒布部数 76 冊

カ 行事等への後援・協賛

県、市町村、地域活動団体等が主催する行事等への後援・協賛を実施した。
参考資料 1 のとおり

キ 環境保全活動機材等の提供・貸出し

各市が実施するイベントや推進員の活動に対し、資機材の提供、貸出しを実施した。

- ・ 貸出件数 61 件

2. 環境教育推進事業

環境保全活動の継続と拡大を図るため、学校や地域社会で環境保全に対する理解を深め、取組意欲を高める環境教育を推進、支援する。

⑨ (1) とやま環境未来チャレンジ事業

ア とやま環境チャレンジ10事業（拡充）

小学4年生を対象に、エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的に、小学校に推進員を講師として派遣し授業を行う「とやま環境チャレンジ10」を実施した。

- ・ 開催時期 5月～12月
- ・ 実施校数 県内全市町村 小学校 64校
- ・ 参加者数 3,503名
- ・ 内 容 推進員による授業（2回）、児童・家族による地球温暖化防止や3Rの推進、食品ロス削減等のための取組みの実践（10項目、4週間）

⑩イ 食品ロスゼロチャレンジ事業

小学校における食品ロス削減の学習を推進するため、本県の実情を踏まえた食品ロスに関する副読本を作成し、配布した。

- ・ 作成部数 10,000部
- ・ 内 容 食品ロス削減の取組み

(2) はじめてのエコライフ教室

幼児期から(家族ぐるみで)エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的として、幼稚園・保育所等に推進員を講師として派遣し授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施した。

- ・ 開催時期 5月～12月
- ・ 実施園数 10園
- ・ 参加者数 414名（幼児 361名、保護者 53名）
- ・ 内 容 省エネやごみ分別等のエコライフの説明、児童・家族によるエコライフの取組みの実践（3項目、1週間）

(3) こどもエコクラブの支援

こどもエコクラブの富山県事務局として、こどもエコクラブの育成及び活動支援を行った。

(4) かえっこバザール実施事業

「ごみの発生を抑制」「繰り返し使う」「資源として再利用する」の3Rの精神を小さいころから意識付けするため、遊ばなくなったり、使わなくなった「おもちゃ」等を物々交換し、物の大切さを学び体験する「かえっこバザール」を実施した。

- ・ 開催回数 2回
- ・ 開催場所 とやま環境フェア2018、魚津市環境フェスティバル

(5) エコドライブ推進事業

エコドライブを「知っている」から「実践している」へ行動の転換及び定着化を図るため、気軽にエコドライブを体感できるシミュレータを用いたエコドライブ体験会を開催し、エコドライブの一層の定着・拡大を推進した。

- ・ 開催日 平成30年10月13日、14日
- ・ 開催場所 高岡テクノドーム(とやま環境フェア2018会場内)

(6) 自然解説事業

自然保護意識の高揚を図るため、ねいの里、頼成の森、称名、立山地区(室堂、弥陀ヶ原)の県内4地区に自然解説員(ナチュラリスト)を配置し、自然解説を実施した。また、活動業務打合せ会及び活動業務報告会を開催するとともに、ナチュラリストの資質向上及び支援を目的とした研修会を開催した。

<自然解説>

- ・ 配置期間 平成30年4月27日～11月4日
- ・ 配置人数 508名

配置場所及び人数一覧表

区 分	ねいの里	頼成の森	称名 地区	立山地区		計
				室堂平	弥陀ヶ原	
配置人数	67名	63名	86名	177名 (528名)	115名 (331名)	508名 (1,075名)

注) 表中の()は、配置延べ人数。

<活動業務打合せ会及び業務報告会>

① 活動業務打合せ会

- ・ 開催日 平成30年4月21日(土)
- ・ 開催場所 サンシップとやま 福祉ホール
- ・ 参加者 183名

② 活動業務報告会

- ・ 開催日 平成30年12月4日(火)
- ・ 開催場所 富山県民会館304号室
- ・ 参加者 72名

<研修会>

- ・ 開催回数 3回
- ・ 参加者数 延べ291名
- ・ 内 容 講演会、現地研修

3. 普及・啓発事業

ホームページやメールマガジン、エコノワとやま、機関紙「きょうせい」等により、環境保全・地球温暖化防止活動の情報を発信、先駆的な取り組みを実施している団体・企業等を紹介するとともに、新聞・テレビ・ラジオ等を通じて環境保全に関する普及啓発を行った。

また、イベントや講演会等を実施し、環境保全意識の高揚とエコライフの実践拡大を図った。

(1) 啓発イベント等実施事業

ア エコライフ・アクト大会の開催

「環境月間」の6月に、エコライフの実践に繋がるイベントとして開催した。

- ・ 開催日 平成30年6月23日(土)
- ・ 開催場所 ファボーレ 太陽の広場
- ・ 参加者 一般県民等 約200名
- ・ 内容 功労者表彰、環境月間ポスター表彰・ポスター展示、保育園児によるこどもエコ活動事例発表

⑧ イ 「いつでも、どこでも3R」キックオフイベントの開催

3R推進全国大会に向けて、マイバッグ持参や食品ロス削減など様々なライフスタイルに応じた、3Rの取り組みの拡大に向けたキックオフイベントを開催した。

- ・ 開催日 平成30年6月23日(土)(エコライフ・アクト大会と併催)
- ・ 内容 寸劇による事業紹介、事業者・消費者団体・小学生等によるキックオフ宣言、2016リオ五輪柔道女子70キロ級金メダリスト田知本遥さん トークショー

ウ 「とやま環境フェア2018」の開催(富山県、高岡市、環境とやま県民会議と共催)

県民に循環型・低炭素社会づくりに向けた取り組み事例を紹介するとともに、3R推進全国大会を機に、3Rの取り組みなどエコライフについて楽しみながら見聞・体験するイベントを開催し、家庭等における実践拡大を図った。

- ・ 開催日 平成30年10月13日(土)、14日(日)
- ・ 開催場所 高岡テクノドーム(富山県産業創造センター)
- ・ 来場者数 一般県民等 約15,000名
- ・ 内容 ブース展示及びステージイベント等

<ブース展示>

地球温暖化対策、環境保全に対する取り組み、エコライフ、3Rへの取り組み等の紹介のほか、かえっこバザール、小型家電リサイクル啓発ワークショップ、「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」(使用済み小型家電の回収)、親子で体験コーナー、地球温暖化防止活動推進員ブース、ダンボール迷路、エコゆうえんち、次世代バス・自動車展示等、65企業・団体が出展

<ステージイベント>

富山県ごみゼロ推進県民大会【再掲】、工作ショー、エコな科学実験教室、キャラクターショードラえもん、わくわく抽選会、地元団体によるパフォーマンス等

<会議室イベント>

プラネタリウム工作教室

<サイドイベント>

- ・ 開催場所 イオンモール高岡
- ・ 内 容 映画「0円キッチン」の上映、リユースセミナーの開催等

(2) 環境保全・温暖化防止活動情報発信事業

ア ホームページによる情報提供

ホームページにより、財団事業の紹介、イベント案内、環境NPO法人リンク集など環境関連情報を発信した。

イ メールマガジン「とやまエコ通信」の配信

県民、NPO法人、企業、市町村等を対象に、財団の実施事業、環境関連イベント、エコアクション21関連情報を月1回配信した。

- ・ 配信回数 12回
- ・ 配信数 409件
- ・ 配信先 県民やNPO法人、企業、市町村等
- ・ 配信内容 当財団の実施事業、環境関連イベント、NPO法人・企業の活動紹介等

ウ 「エコノワとやま」による情報発信

県内のNPO法人等の環境保全活動に関する情報を集約・発信して環境保全活動を支援する参加型のホームページ「エコノワとやま」を運営した。

- ・ 掲載団体数 154団体

エ (公財) とやま環境財団機関紙の発行

財団の事業内容、県内の環境活動団体の紹介、環境に関する情報提供を行うため、機関紙「きょうせい」を発行した。

- ・ 発行回数 年2回(8月、1月)
- ・ 発行部数 各2,500部
- ・ 配布先 県、市町村、出捐企業、賛助会員、関係団体、病院等

4. 地球温暖化防止活動推進センター事業

富山県地球温暖化防止活動推進センターとして、地球温暖化防止活動アドバイザーを配置し、地球温暖化対策や省エネに関する相談窓口の設置及び温暖化防止の普及啓発、地球温暖化防止活動推進員の活動支援を行った。

また、国のCOOL CHOICE賛同者の拡大に向けた普及啓発を行った。

(1) 地球温暖化防止活動アドバイザーの設置事業

地球温暖化防止に向けて、県民からの相談に対応するとともに、県民に対する普及啓発や指導助言、調査業務を行った。

(2) 地球温暖化防止活動推進員活動支援事業

県から委嘱された地球温暖化防止活動推進員に対して、研修会の開催、情報提供及び資料・資料の提供等を通じて、活動を支援した。

<推進員研修>

- ・ 開催回数 3回
- ・ 参加者数 延べ100名
- ・ 内容 講演、現地研修、活動事例発表、意見交換等

(3) とやま環境未来チャレンジ事業（再掲）

(4) 地球温暖化防止活動促進事業（(一社)地球温暖化防止全国ネット補助事業）

富山県から指定を受けている「富山県地球温暖化防止活動推進センター」としての基盤強化を図るため、地球温暖化防止に関する情報の集積や地球温暖化防止に資する人材育成等の事業を行った。

(5) うちエコ診断事業

要望に応じて、富山県うちエコ診断実施機関（とやま環境財団）に登録しているうちエコ診断士を派遣し、各家庭等での有効な省エネ対策等を提案する、うちエコ診断事業を実施した。

- ・ 実施機関認定期間 平成29（2017）年4月1日～2020年3月31日
- ・ 登録しているうちエコ診断士数 5名

(6) 環境保全に関する相談事業（再掲）

環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、地球温暖化対策等に関する相談に応じた。

(7) 「COOL CHOICE」普及促進事業

国が展開している国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」の賛同者の増加を図るため、とやま環境フェアや各市のエコライフ・イベント等で普及啓発を行った。

5. エコアクション 21 地域事務局事業

(1) エコアクション 21 制度の普及啓発

企業・団体等への働きかけを行うとともに、ホームページ、メールマガジン等への掲載により、エコアクション 21 制度の普及啓発を図った。

(2) エコアクション 21 認証・登録事業（収益事業）

事業者からの審査申込の受付、審査員の選任、審査報告書の受付、認証・登録の可否を審査する判定委員会の開催、中央事務局への判定結果の報告等を行った。

- ・ 認定・登録事業者数 123 社

(3) エコアクション 21 自治体イニシアティブ・プログラムの推進

富山県と共催で“エコアクション 21 自治体イニシアティブ・プログラム”を実施し、事業者の募集と指導講習を行い、認証取得を推進した。

- ・ 実施期間 平成 30 年 9 月～31 年 2 月
- ・ 開催回数 7 回（事前セミナー 1 回、講習会 6 回）
- ・ 参加者 エコアクション 21 認証取得を目指す事業者 8 社
- ・ 内容 ガイドラインの説明、認証取得に向けての指導講習

(4) 中小企業の省エネ活動等支援及び環境経営に関する相談事業

節電・省エネ対策やエコアクション 21 等の環境マネジメントに関心のある中小企業を支援するため、エコアクション 21 審査員を環境経営相談員として配置し、各種相談にあたった。

⑨ (5) エコアクション 21 ガイドライン改訂への対応

2017 年 4 月に環境省が公表した「エコアクション 21 ガイドライン 2017 年版」を受け、認証・登録事業者（建設業者向けガイドライン適用事業者）を対象とした説明会を開催した。

- ・ 開催日 平成 31 年 3 月 20 日（水）
- ・ 開催場所 サンシップとやま 福祉ホール
- ・ 出席者 40 事業者
- ・ 内容 ガイドライン改訂のポイント等

6. 運営体制強化事業

当財団の事業、特に協働推進事業について現状及び課題を整理し、「意識啓発」から「協働・実践」へと効果的・効率的な事業展開を図るため、次の事業を行った。

- ・ 財団の事業を効率的に実施するため、コアとなる職員の確保・養成
- ・ 財団の財政基盤強化のため、新規賛助会員の確保
- ・ NPO 法人や企業による環境保全活動の活性化、定着化を図り、財団と協働した事業展開を図るための方策の検討

(参考資料1)

1 後援・協賛・共催事業 (14件)

区分	名 称	開催年月日	場 所	主 催
1	アースデイとやま 2018	H30. 5. 20	富山市ファミリーパーク	アースデイとやま 2018 実行委員会
2	平成 30 年度環境月間ポスターコンクールの協賛について	H30. 6. 23～ H30. 8. 19	ファボーレ イオン高岡、 アピタ魚津、 ねいの里	富山県生活環境文化部 環境政策課
3	水みらいプロジェクト 2018	H30. 4～ H31. 3	富山テレビで放映	水みらいプロジェクト 実行委員会
4	漂着物アート展 2018	H30. 6. 7～ H30. 7. 1	氷見市海浜植 物園 1 F 特 設ギャラリー	公益財団法人環日本海 環境協力センター
5	平成 30 年度「美女平」初 夏の自然観察会	H30. 5. 20	中新川郡立山町 芦 峠 寺 づ な 坂 「美女平地内」	富山県ナチュラリスト協 会
6	ネイチャーゲームリーダ ー養成講座	H30. 7. 14	富山県砺波青少 年自然の家	富山県シェアリングネイ チャー協会
7	グルッと手をつないで、 美しい富山湾！	H30. 8. 5	射水市海老江海 浜公園	グルッと手をつないで、 美しい富山湾！ 実行委員 会
8	トヨタソーシャルフェ ス！！2018	H30. 8. 25	島尾海岸	北日本新聞社
9	平成 30 年度 秋の自然観 察会	H30. 9. 30	県民公園 頼 成の森	富山県ナチュラリスト 協会
10	第 13 回射水市環境とく らしフェア開催に対する共 催	H30. 9. 30	射水市ミライ クル館	射水市環境とくらしフ ェア実行委員会

11	けんせいきょう祭り 2018	H30.10.13 H30.10.14	富山産業展示館 (テクノホール)	富山県生活協同組合
12	第 26 回富山県ナチュラリスト大会及び第 17 回北陸三県合同ナチュラリスト研修会	H30.10.27 ～ H30.10.28	五箇山合掌の里	・富山県ナチュラリスト 団体連絡会 ・第 26 回富山県ナチュラリスト大会長
13	第 63 回富山県環境保健衛生大会	H30.10.27	富山市婦中ふれあい館	富山県環境保健衛生連 合会
14	平成 30 年度 冬の自然観察会	H31.2.3	上市町 大岩周 辺及び城ヶ平山	富山県ナチュラリスト 協会

(参考資料2)

1 会議の開催状況

(1) 理事会

開催日	名称	開催場所	出席者数	議題等
H30. 6. 1	第31回理事会	富山県民会館 702号室	理事 11名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none">平成29年度事業報告及び収支決算について常勤の理事に対する報酬等の額を定める件について役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について定時評議員会の招集について
H30. 7. 2	第32回理事会	(書面)	理事 13名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none">評議員会の開催の議決について評議員会の議決事項監事の選任について
H30.10. 1	第33回理事会	(書面)	理事 13名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none">評議員会の開催の議決について評議員会の議決事項評議員の選任について
H30.12.12	第34回理事会	(書面)	理事 12名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none">常勤理事に対する報酬等の額を変更する件について
H31. 3.26	第35回理事会	富山県民会館 702号室	理事 10名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none">平成30年度事業報告(見込み)について平成30年度収支予算の補正について平成31年度事業計画及び収支予算について平成31年度資金運用計画について評議員会の開催の議決について

(2) 評議員会

開催日	名称	開催場所	出席者数	議題等
H30. 6.28	第20回評議員会	富山県民会館 509号室	評議員 5名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none">平成29年度事業報告及び収支決算について役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
H30. 7. 6	第21回評議員会	(書面)	評議員 7名	<ul style="list-style-type: none">監事の選任について 宮村 樹→中澤 宏
H30.10. 5	第22回評議員会	(書面)	評議員 6名	<ul style="list-style-type: none">評議員の選任について 長坂 雄一→横井 三知貴
H31. 3.29	第23回評議員会	(書面)	評議員 7名	<ul style="list-style-type: none">監事の選任について 酒井 武史→吉川 禎

(3) 環境とやま県民会議及び県土美化推進県民会議

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
H30. 4. 17	県土美化推進県民会議 総会	富山県民 会館 304号室	約 100 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県土美化推進功労者の表彰 ・ 平成 29 年度県土美化推進運動の実施報告 ・ 平成 30 年度県土美化推進運動実施要領 (案) の承認
H30. 5. 14	環境とやま 県民会議第 1 回幹事会	(書面)	20 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年度報告 ・ 平成 30 年度事業計画 (案) ・ 平成 30 年度環境とやま県民会議総会等の 開催 (案)
H30. 6. 23	環境とやま 県民会議総 会	ファボーレ 太陽の広場	約 200 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県環境部門功労表彰 ・ 環境月間ポスターコンクール入賞者表彰 ・ 環境とやま県民会議・活動方針報告
H30. 9. 5	環境とやま 県民会議第 2 回幹事会	サンシップ とやま 701 号室	12 名 (表決委 任 8 名)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度富山県ごみゼロ推進県民大会 の実施要領 ・ 平成 30 年度環境とやま県民会議会長表彰 (ごみゼロ・リサイクル、地球温暖化防 止、エコ・ストア) 受賞者の選考 ・ 平成 30 年度環境とやま県民会議総会及び エコライフ・アクト大会の開催報告 ・ 「とやま環境フェア 2018」の開催
H30. 10. 13	富山県ごみ ゼロ推進県 民大会	高岡テクノ ドーム	約 150 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県環境部門功労表彰 ・ 環境とやま県民会議会長表彰 ・ とやまエコ・ストア連絡協議会会長表彰 ・ 平成 30 年度ごみゼロ推進大運動実施状況 報告
H31. 3. 13	県土美化推 進県民会議 幹事会	サンシップ とやま 601 号室	16 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度県土美化推進運動の実施状況 ・ 平成 31 年度県土美化推進運動実施要領 (案) ・ 平成 31 年度県土美化推進功労会長表彰受 賞者の選考 ・ 平成 31 年度県土美化推進県民会議総会の 開催 (案)

2 基本財産等の状況

(1) 基本財産

(単位；千円)

区 分	目 標 額	29 年度末 受領額	30 年度増減額	30 年度末 受領額
県	200,000	200,000	0	200,000
市町村	100,000	100,000	0	100,000
民 間	300,000	284,900	0	284,900
計	600,000	584,900	0	584,900

(2) 環境保全活動推進基金

(単位；千円)

区 分	29 年度末 受領額	30 年度増減額	30 年度末 受領額
民 間	46,530	0	46,530

(3) 賛助会員

区 分	会 員 数	賛助会費額	備 考
個 人	295 名	380 千円	2,000 円／人
法人・団体	347 団体	6,840 千円	10,000 円／口
計	個人・団体	7,220 千円	